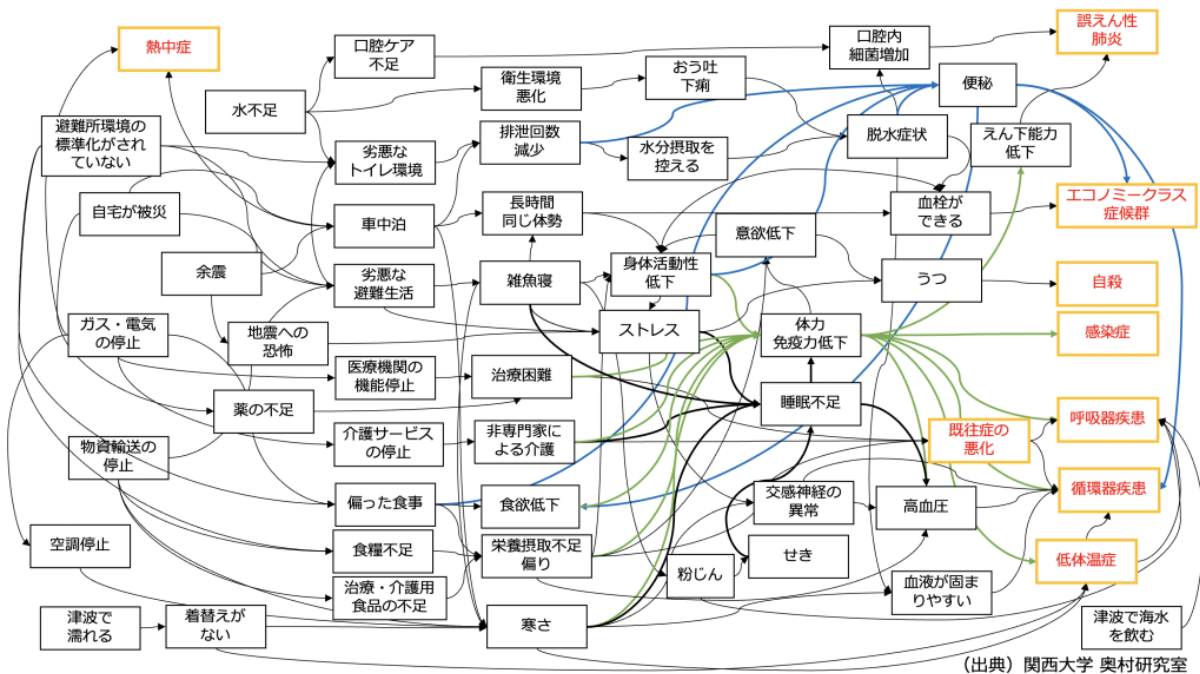


災害関連死を防ぐために(1)

2024年1月14日(日)奥村執筆

災害関連死は、死亡原因が非常に多岐に及びます。また、同じ死亡原因でも、そこに至るプロセスは持病や介護の有無、生活環境などによって大変複雑です。しかしながら、下の図にある黒枠内に記載されている問題を一つひとつ改善すれば災害関連死のリスクを下げるすることができます。避難所で生活されている方も、自宅や高齢者施設で厳しい生活を余儀なくされている方も、少しでも生活環境が改善され、命が守られることを願っています。



(出典) 関西大学 奥村研究室

図1 災害関連死の発生プロセス. 東日本大震災などの過去の災害を踏まえて作図.

その他、今、気になることを列挙します。

- ・災害発生から1週間が経過しても安心できません。70歳以上のご高齢の方は、特にご注意ください。
- ・このまま被災地に留まるのが危険な被災者のために、安心して広域避難という選択ができるようにしましょう。
- ・故郷を離れることがリスクになる方もおられます。長距離移動や生活環境の変化、孤独による身体的精神的な負担に注意しましょう。